



鳥獣被害防止対策情報一第2号一

(R8. 7. 22~)

県中農林事務所須賀川農業普及所・JA 夢みなみ（すかがわ岩瀬地区、いしかわ地区）

中通り・会津地域においては「ツキノワグマ出没特別注意報」が令和8年8月31日まで発令されております。

県内では、ツキノワグマの目撃情報が例年の同時期と比べて大きく増加しており、6月末時点で既に人身事故5件（8名）の被害が発生している状況です。

今まで出没しなかった地域でも目撃されており、クマによる人身被害の発生が懸念されることから、期間を延長して発令されています。

○クマとの遭遇多発ポイント

- ①登山や仕事での入山 ②納屋・畜舎 ③朝夕の散歩 ④果樹周辺 ⑤キノコ採り ⑥朝夕の農作業 ⑦林縁部や藪付近 ⑧河川敷

○クマに出会わないためにできること

- ①目撃情報を調べましょう。
②クマ鈴やラジオなど音のするものを身につけて行動しましょう。
③朝夕の登山や散歩、農作業を行う際は、複数人での行動、クマ鈴等の携帯を徹底しましょう。
④屋外に生ゴミ・野菜・未収穫の果物・ペットフードを置かないようにしましょう。

○人身事故を減らすためにできること10箇条

- ①日の出前、日没後の徒歩での外出に注意！
②通学路や散歩コースの安全を確認！
③河川敷は熊の出没ルート！
④犬の散歩時にも人身事故発生！
⑤住宅街や自宅敷地でも注意！
⑥畑や果樹園などの見回りは車で！
⑦空き家や倉庫、畜舎への侵入に注意！
⑧夏～秋にかけてのキノコ狩りはリスク高！
⑨山地や河川作業中の事故にも注意！
⑩登山やサイクリング、キャンプなどの野外活動も注意！

（福島県自然保護課通知より）

早朝や夕暮れ時に林縁部や川（沢）沿いなど、出没の可能性が高い場所での農作業は避けましょう。

また、農地周辺のやぶを刈払うなど、生息環境管理も適宜進めましょう。

これまで被害や痕跡が確認されている地域では、あらかじめほ場周辺の藪を刈り払ってほ場周辺の環境整備に努めるほか、侵入防止柵を設置しほ場内へ容易に侵入させないなど事前の対策を実施しましょう。

1 8月以降の鳥獣被害について

8月以降は、水稻や果樹、飼料用トウモロコシなど、様々な品目が収穫期を迎えるため、農作物の鳥獣被害が拡大する時期となります。

これまでに野生動物の被害や痕跡が認められる場合は、周辺の藪の刈払い等を行い、下記を参考に防護柵を設置しましょう。

2 共通の対策

- (1) 農地周辺の藪の刈払いや樹木の枝打ち、伐採などを行い、森林内の見通しを良くし、野生動物が潜む場所を無くしましょう。
- (2) 生ゴミや収穫残渣は、野生動物にとって魅力的なエサとなります。目のつくところに捨てずに、穴を掘って埋めるようにしましょう。ほ場を侵入防止柵で囲んでも、生ゴミや収穫残渣を容易に食べることができる状態だと、野生動物は集落をエサ場と認識して、周りに住み続けることとなりますので注意してください。
- (3) 電気柵は、野生動物の鼻先が線に触れることで野生動物が驚き、近寄らなくなるので、設置の高さに注意しましょう。

※電気柵、正しく設置できていますか？※

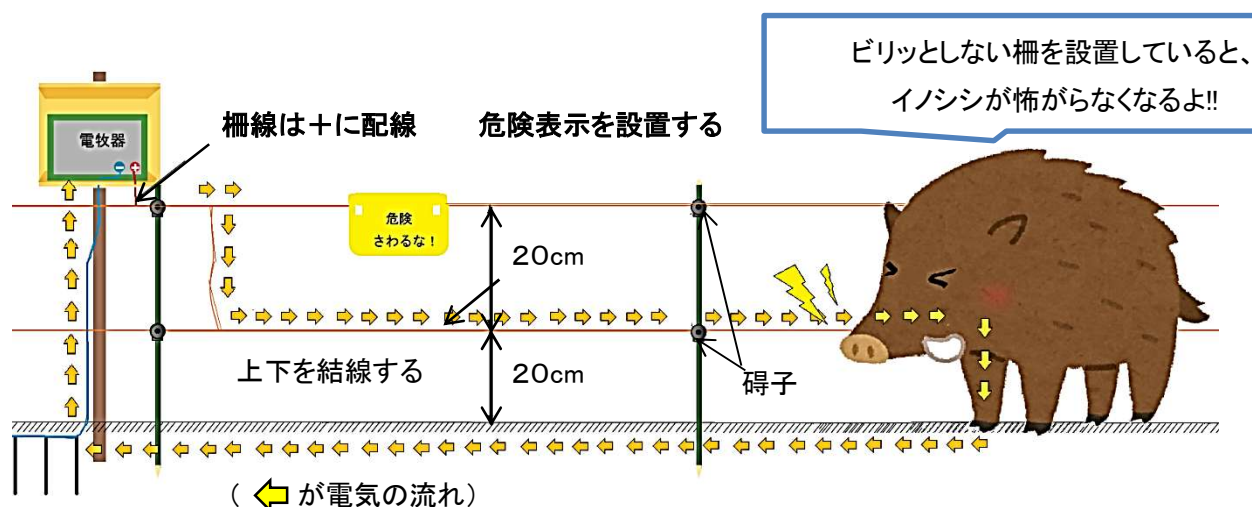
電気柵は野生動物から農作物を守るための有効な手段ですが、設置の際は人に対する危険防止のため、電気事業法に基づき以下の点を行う必要があります。

- ☐ 危険である旨の表示
- ☐ 電気柵用の電源装置の使用
- ☐ 漏電遮断器の設置
- ☐ 専用の開閉器（スイッチ）の設置

3 イノシシ対策

(1) 電気柵の設置

- ☐ 支柱は4 m間隔に立てます（碍子（がいし）は、農地の外側に向けます）。
- ☐ 柵線は、地面から20cm間隔で2段張りします。
- ☐ アースは、湿った場所で、土中になるべく深く埋めます。
- ☐ 電気柵の危険表示は、目立つ箇所に複数箇所設置します。



～～～電気柵の維持管理や改良のポイント～～～

- 週1回を目安に、テスターを使った電圧（目安は4,000～5,000V）の点検と電気柵の点検を行いましょう。
- 雑草などが線に触れると、電圧低下の原因となります。
夏は2～3週間に1回、電気柵周辺の除草を行いましょう。
- 凹地では地面との隙間を空けないよう柵線を張りましょう。

(2) ワイヤメッシュ柵の設置

- ワイヤーは太さ4～5mm、10cm目合、高さ1mのものを使用します。
- 支柱は太さ13mm、長さ1.5mの異形棒鋼など十分な強度のものを使用します。

4 ハクビシン対策

(1) 電気柵の設置

- 柵線は、地面から10cm間隔で3段張りします。
- 埼玉県が開発したネットと電気柵を組み合わせた防護柵「楽落くん」、「白落くん」を活用すると侵入防止効果が高まります。

「楽落くん」：https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/104427/0329rakurakukun_seltuti_manyuaru3.pdf

「白落くん」：<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/104427/hakuraku3-3.pdf>

※「楽落くん」、「白落くん」を設置する場合は、ネットが破損していないことやネットと地面の間に隙間をなくすることが大切です。

5 カラス対策

果樹の被害対策には防鳥網（75mm目合）の設置が有効です。被害果は、果皮及び果肉にくちばしと一致するV字の切り裂きがあるのが特徴です。

防鳥網は設置に多くの労力を要します。労力の確保が難しい場合は、防鳥網とテグスの組み合わせによる「くぐれんテグス君」の設置により被害が軽減できます。

「くぐれんテグス君」：

(https://www.naro.affrc.go.jp/org/narc/chougai/wildlife/kugutegu_manual_2018.pdf)

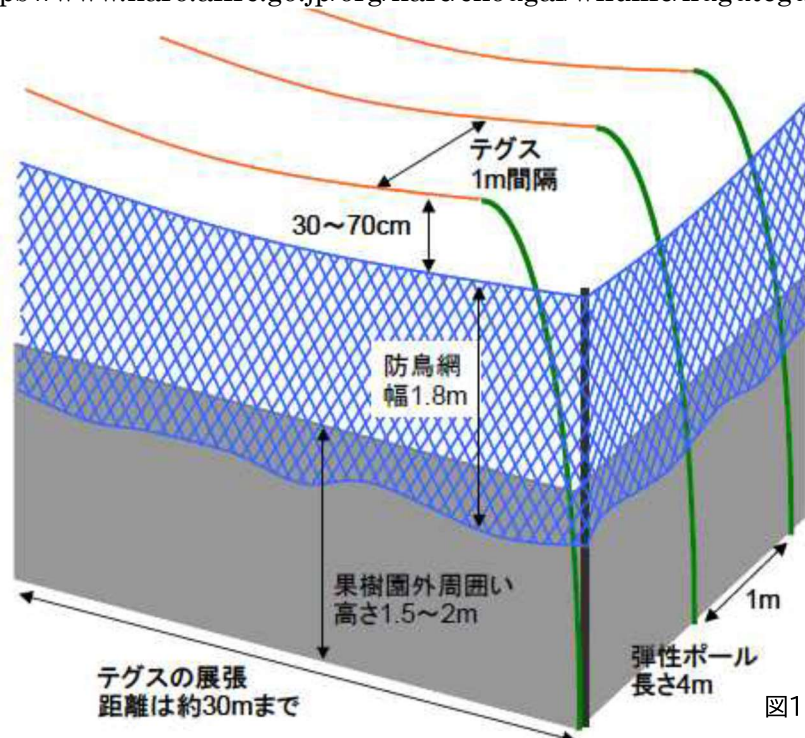


図1くぐれんテグス君